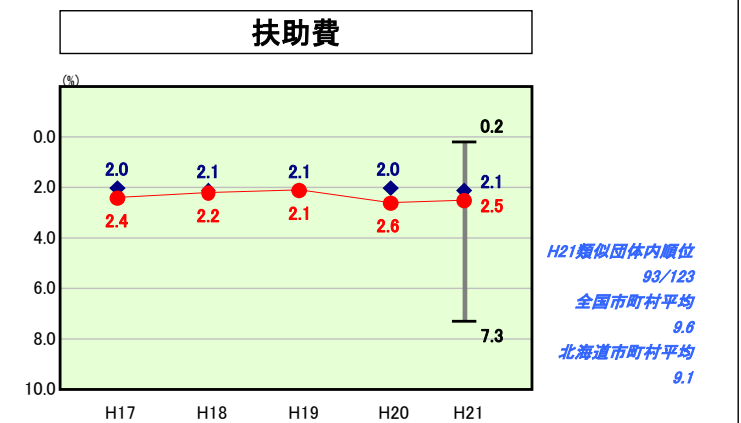
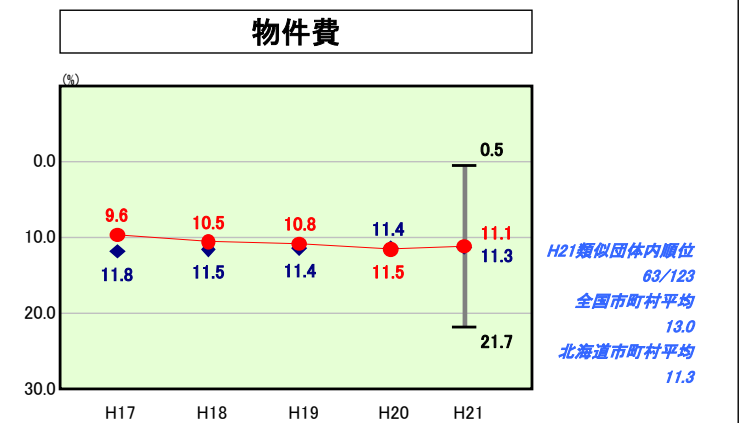
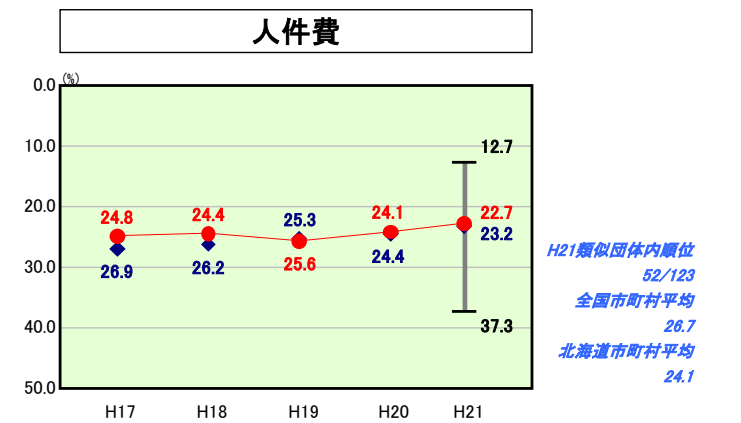
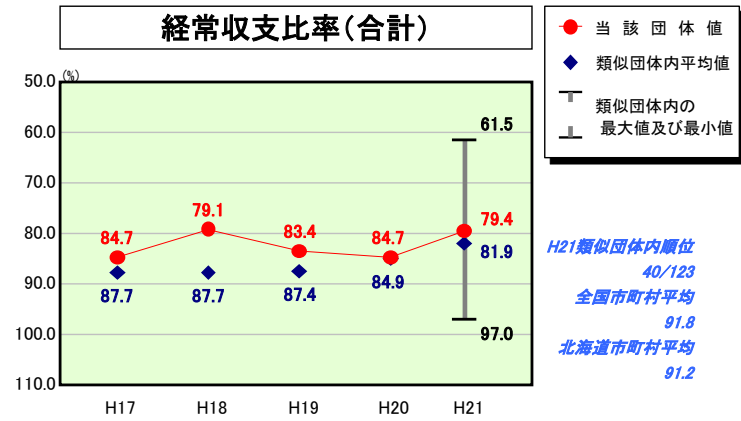
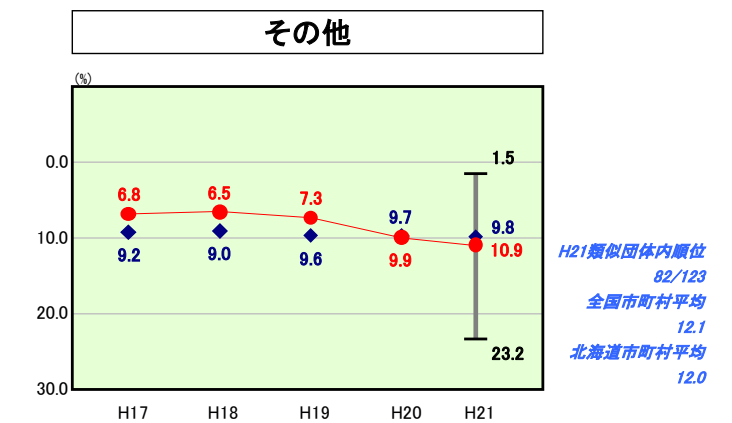
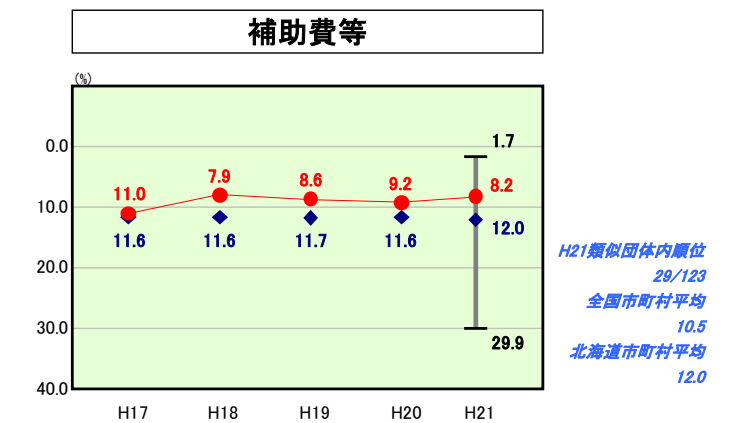
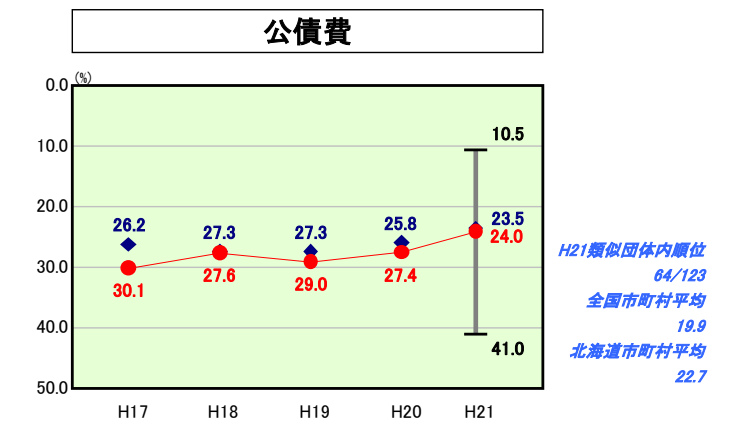
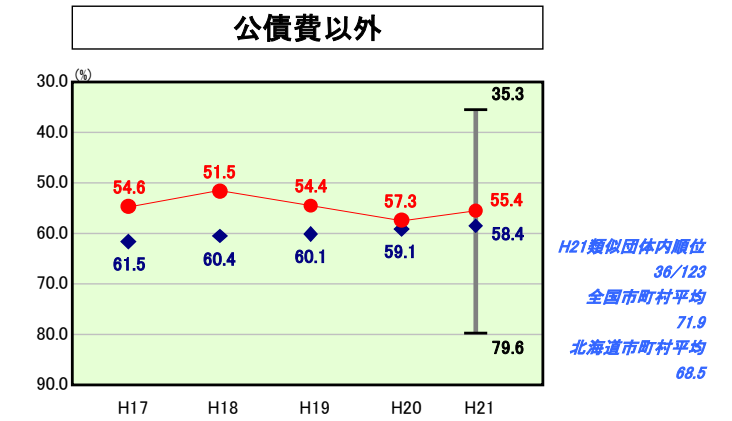
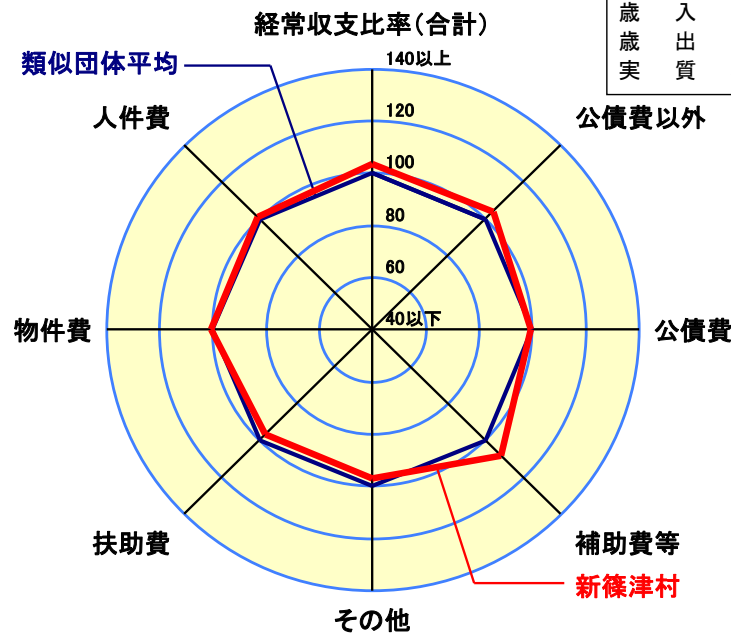


歳出比較分析表(平成21年度普通会計決算)

経常収支比率の分析



人口	3,630人(H22.3.31現在)
面積	78.24 km ²
標準財政規模	2,036,640千円
歳入総額	4,096,467千円
歳出総額	3,953,383千円
実質収支	48,013千円



- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費： 類似団体平均よりも若干低い数値となっておりますが、集中改革プラン等の効果や組織機構の見直しの効果が現れてきています。これからも適正な人件費やサービス向上に努めてまいります。

公債費： 類似団体平均よりは、若干高い数値となっております。その原因は、過去に行った普通建設事業による償還額によるものです。大きな事業負担を当該年度のみで負担で行っていくことは、世代間の公平性からみてもあまり適正であるとはいえません。そのため、必要である大型事業につきましては、地方債を借入れしながら、公債費で償還していくこととなります。これからも、地方債の借入れを伴う大きな事業については、十分検討し出来る限り抑制しながら、財政の健全化に努めてまいります。

普通建設事業費： 21年度におきましては、長年の懸案事項であった中学校改築事業を行ったことにより、高い数値となっております。今後も財政状況を常に見極めながら、必要な事業につきましては、まちづくり計画を基本に取組み、着実な村の振興発展を推進してまいります。